



小島病院 広報誌

2026年1月1日発行

vol.200

年頭号

年

本年もよろしく
お願いいたします



2026
WINTER



医療法人社団玄同会小島病院 創立60周年感謝と慰労の会



理念

地域に望まれる理想の医療を目指して

基本方針

- 1. 私たちは患者さんの立場にたち、安心で満足できる医療を提供します。
- 1. 私たちは患者さんに心から信頼される医療人を育成します。
- 1. 私たちは地域に密着した病院としての機能向上を図ります。

小粒でも大きな支え、続く安心



医療法人
社)玄同会

小島病院



2026



明けましておめでとうございます

病院長 小島 廉平

昨年当院は開設60周年を迎えました。1965年2月に当院が設立されて以来、時代は昭和から平成、そして令和へと移り変わり、様々な環境の変化がありました。その中で60年、私たちは地域の皆さんとともに歩んでまいりました。理事長が当院に戻ってきた1983年には職員は40人程度でしたが、徐々に病院の規模は大きくなり、それと同時に当院で対応できる範囲も広がりました。現在職員数は300人を超え、内科、泌尿器科を中心に地域医療を支えられる体制が整ってきました。そして表紙の写真にもあるように、昨年11月には「創立60周年感謝と慰労の会」を行いました。参加している職員の様子を目にし、「当院はこれだけの多くのスタッフに支えられてここまでやってきたのだ」と感慨深く、また感謝の気持ちでいっぱいになりました。またこれまで当院が駅家の地で医療を提供し続けられたのも、地域の皆様方から信頼いただけたからだと思っています。これまで当院を信頼し支えてくださった方々に厚く御礼申し上げます。

昨年は4月より新しく井上省吾医師が泌尿器科部長として着任し、前立腺肥大に対する水蒸気を用いた新しい治療法でもあるWAVE手術を導入いたしました。また、6月より小島樹里医師が新しい脳神経内科医としてパーキンソン病などの神

経変性疾患をはじめとした脳神経疾患の診療に加え、よだれ（慢性流涎）に対するボツリヌス療法も開始しています。今後も当院でできる新しい治療を積極的に取り入れていくことによって、当院の診療の質を上げていくとともに、これからも皆様の期待に応え続けられる病院でありたいと考えております。

また今年は2年に1回の診療報酬改定があります。昨年の年頭挨拶でも申し上げましたが、前回の診療報酬改定では実際現場と乖離した考えに基づく施策もいくつか見受けられました。今回の診療報酬改定の議論の動向では、国としてもこの数年の医療機関の経営悪化によりやく目を向けるようになったようです。私たち医療機関は地域の皆さんの健康を支えるセーフティネットでなくてはならないと思っておりますが、国の支援なくしては成り立ちません。

2020年に病院長になってから時間の流れを非常に早く感じますが、今年も「地域に望まれる理想の医療を目指して」という理念のもと、福山市北部の発展を健康面で支えることのできる病院であり続けるよう真摯に取り組んでまいります。

本年も皆様にとって良い1年であることを祈念しております。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

年頭のごあいさつ



謹んで新春のお慶びを申し上げます

看護部長 佐野 京子

昨年当院は、創立60年を迎えました。私たちは理事長のリーダーシップのもと「地域に望まれる理想の医療を目指して」を理念に掲げ、地域の皆さまに寄り添い取り組んでまいりました。これも地域の皆さまのお力添えがあってこそと深く感謝しております。

当院には理事長が作成した「職員心得10句」というものがあります。これは社会人としてのマナーや仕事をする上での守るべき基本的な考え方や姿勢を教示し、当院職員のあるべき姿を示しています。職員はこの教えに基づき行動し、現在の小島病院の精神や組織文化を醸成しています。だからこそ、様々な事柄に対しチャレンジしていく力強さを持つ組織であり、この60年を迎えることができたのだと思います。

昨年看護部では身体的拘束最小化への取り組みを強化した年でした。身体的拘束とは、患者さま自身への不利益になる自傷行為の防止や、他害行為を防ぐために行われる行動制限を指します。医療現場では、患者さまへの治療上の安全性を確保するために行うことが主な理由となります。しかし、患者さまの自由を制限することやご家族の気持ち、職員のジレンマなど様々な影響がある

ことから、身体的拘束最小化に向けて、積極的に取り組むことにしました。現場では患者さまごとに、どうすれば身体的拘束をしなくて済むのか毎日多職種でカンファレンスをするようになりました。拘束をしていた患者さまに、拘束をしなくていい方法を考え、それが成功した事例もあり、職員のモチベーションアップにも繋がっています。病院の身体的拘束率も、13.1%から7.9%に減少しています。職員は本当に患者さまに真摯に向き合い、日々尽力してくれています。今後も引き続き身体的拘束最小化に向けて取り組んでいきたいと思えます。

今年看護部では、専門性の高い看護職員の育成を目指し、院内認定看護師制度を構築していこうと考えています。また、業務の効率化を図り、看護師が行っている入院説明、検査説明などのDX化も促進していきたいと考えています。

これからも地域の皆さまに信頼され、地域に貢献できる医療を実践し、医療の質向上に努めていきたいと考えています。

今年一年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

●診察時間

	午前	午後
診療時間	9:00~12:00	16:30~18:00 (眼科のみ) ●火曜日~金曜日 15:00~18:00 ●土曜日 13:00~15:00
受付時間	8:15~11:30	~17:30 (眼科のみ) ●火曜日~金曜日 ~17:30 ●土曜日 13:00~15:00

※学会などへ出席のため、休診または担当医が変更になることがあります。
 ※予約の方は予約時間に従い、受付をお願いします。
 ※泌尿器科は手術の都合で外来診療受付時間が変更になることがあります。

●診療科目

内科・脳神経内科・循環器内科・消化器内科・糖尿病内科・呼吸器内科
 泌尿器科・眼科・リハビリテーション科

●外来診療担当表

2025年10月1日現在

科目	曜日	月		火		水		木		金		土	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	1診	小島(樹) (脳神経)	小島(樹) (脳神経)	小島(樹) (脳神経)	小島(樹) (脳神経)	土井 (糖尿病)	小島(樹) (脳神経)	土井 (糖尿病)	船石 (呼吸器)	松山 (脳神経)	松山 (脳神経)	小島(樹) (脳神経)※2	奥田/谷野 山岡/竹原 (消化器)
	2診	土井 (糖尿病)		原 (消化器)	原 (消化器)	兼澤 (循環器)	院長 (循環器)	原 (消化器)	森元 (消化器)	西岡 (糖尿病)	森元 (消化器)	原 (消化器)	原 (消化器)
	3診	院長 (循環器)	院長 (循環器)	岡本 (糖尿病)		院長 (循環器)	船石 (呼吸器)※1	船石 (呼吸器)		院長 (循環器)			小寺/院長/松尾 (循環器)※3
	別診					竹林 (脳神経)		小島(樹) (脳神経)					
内視鏡診察室(予約)		原		野村				森元		森元			奥田/谷野 山岡/竹原
泌尿器科	1診	大口		大口		井上		大口		井上	井上	井上	
	2診	宮本		宮本		宮本	宮本	井上	井上	宮本		宮本	
	別診	山中	山中										
眼科				瀧川	瀧川	瀧川	瀧川	瀧川	瀧川	瀧川	瀧川	瀧川	瀧川※4

※1 15:00~17:30までの診療となります。 ※3 第1土曜日は小寺医師、第2・第5土曜日は院長
 ※2 第1・3・4土曜日の診療となります。 第3土曜日は松尾医師の診療となります。
 ※4 13:00~15:00までの診療となります。

予約制による内視鏡他の検査外来
 /月・火・木・金・土

診療予約変更は午後から電話等でお問合せください。

- 休診日
 - 日曜日・祝日(全科)
 - 火曜日午後・土曜日午後(泌尿器科)
 - 月曜日(眼科)
- 面会時間
 - 平日(月~土)のみ/13:00~17:30



〒720-1142 広島県福山市駅家町上山守203
 TEL (084) 976-1351(代) FAX (084) 976-6309
<https://kobatake.or.jp>

